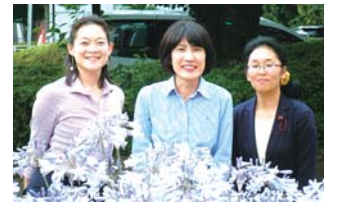




市民ネットワーク 議会通信

2015年
千葉市議会第2回定例会
6月8日～6月23日



市議会議員
渡辺忍 松井かよ子 岩崎明子

市のホールやセンターの管理運営は 誰がやればよいか？

改選後の初議会。市民ネットワークの3人の新人議員も質問をおこないました。

市民会館、市民ギャラリー・いなげ、文化センター、生涯学習センターについて、条例を一部改正し「指定管理者を公募によらず指定することとする」議案に対し、市民ネットワークは5つの理由から反対しました。

- 1 「非公募」により、指定を希望する団体の「門戸を閉ざしてしまう」恐れがあること
- 2 公募を続けることにより、指定後も日々努力をうながすことが、市民サービスの向上につながる
- 3 文化、スポーツ、教育施策は二元的におこなわれるべきものではなく、多様な人や企画があつてこそ内容が充実したものになること
- 4 区のホールなど小規模な公共施設こそ、地域の市民団体が運営に参加できる可能性があること
- 5 「非公募」にして、外郭団体の温存を図り、市職員の天下り先の確保を優先させようとしていると市民に受け取られる可能性があること

結果は市民ネットワーク以外の会派すべてが賛成し、可決されました。議場では「市の文化、スポーツ、教育施策の理念や全体像は？」「どのように市民に還元されるのか？」「市の外郭団体こそが担う役割は何か？」について、市民にわかりやすく示すよう、市に要望しました。

議会トピックス



加曾利貝塚博物館と郷土博物館が入館無料に

条例の一部改正により、今年7月から大人、小人とも無料になりました。これまで料金徴収にかかる人件費が入館料収入を上回っていたため、経費削減につながるとして賛成しました。他にも同様の事例がないか注視していきます。さあ、この夏は加曾利貝塚PR大使「かそりーぬ」に会いに行きましょう！

1億円の階段デッキは必要か？ @千葉みなと

来年3月末に完成予定の旅客船ターミナル、棧橋の整備にあわせ、階段デッキを整備する経費1億円が補正予算案に計上されました。補正予算は他の事業経費と一括で採決されるため、やむなく賛成しました。

7月16日(木) 10:30～12:00

場所:男女共同参画センター(ハーモニープラザ 研修室1)

同日 13:30～15:00

場所:花園地区自治会館(2F 和室)

市民ネットワーク 市議との意見交換会のお知らせ

指定廃棄物の処分場問題や子育て、介護など
市政へのご意見をお聞かせください。

松井かよ子

一般質問より

放射性廃棄物の最終処分場問題

千葉市は毅然とした態度で 国(環境省)に申し入れを!

議会の初日(6月8日)、3つの会派(自民、公明、未来民主)が提出した「千葉市内での指定廃棄物処分場建設候補地選定について再協議を求めるとする」議案の採決がおこなわれました。市民ネットワークも主旨には賛同できるとして、賛成しました。結果は賛成多数で採択され、千葉市議会として国に再協議を求めていくことになりました。

市民ネットワークの一般質問に対し、市長からは「市民などからは当該施設の立地について、懸念する意見が多数寄せられており、市議会において決議が採択されている状況を踏まえ、市民などの懸念を考慮するとともに市議会の決議を尊重し、国に再協議を求めており、今後も、責任ある対応に努めて参ります。」との答弁がありました。

市長自らも6月10日、国に再協議を求めています。今後は、市長が国にどのような発言をするのか、市民とともに注目していきます。



* 指定廃棄物とは：東京電力福島原発事故により、飛散した放射性物質がごみや落ち葉などに付着し、放射性セシウムの濃度が高い廃棄物が生じた。下水道施設の汚泥やごみ焼却灰などは放射性物質が濃縮され、汚染濃度の値が1kgあたり8000ベクレルを超える廃棄物となった。これを国の特別措置法では「指定廃棄物」と定め、その処理に関しては国が責任を持つとした。

* 千葉市内の最終処分場候補地とは：特別措置法により、県内に堆積した指定廃棄物はその県内で処理するとされた。千葉県内でもホットスポットと呼ばれた地域での保管量が多く、現在は10市18か所で一時的に保管されている。国は千葉県内1か所に集約して最終処分場をつくることを方針とし、その手順の一環として、地盤、地質等の詳細な調査を行う候補地に、東京電力千葉火力発電所千葉市中央区蘇我2丁目Bの土地の一部を選定した。

18歳選挙権で、投票率は上がるのか？



千葉県弁護士会の協力で行う小学生対象の模擬選挙

4月12日の統一地方選挙の投票率は過去最低でした。20代30代の投票率は、30%に満たない危機的状況です。6月17日、参議院で公職選挙法の改正案が全会一致で可決され、18歳選挙権が実現しましたが、何も策を講じなければ投票率は低下の一途です。選挙管理委員会は若年層への啓発について「今後、教育委員会と協力して高校生への出前選挙講座を行う」と回答。しかしそれでは遅すぎます。これからは、小中学生からの主権者教育が必須です。自分たちのことを自分たちで決める、自治を学ぶ機会を増やすことや、中高生が実際の選挙に合わせた模擬投票を行うことを要望しました。

福祉の視点を生かし、子どもに支援の手を！

非正規雇用や生活保護世帯の増加で、6人に1人の子どもが貧困といわれ社会問題となつていますが、千葉市では平成25年度から「スクールソーシャルワーカー」が配置されています。社会福祉士等の資格を持つ人が福祉の視点を生かし、学校の現場から、家庭を必要な支援につなげられるようになりました。教育委員会は今後の課題について、「支援が必要な事案の増加に対応するため、制度を周知し活用を図ること、改善した事案の分析と評価をすること」と回答。スクールソーシャルワーカーが介入することで改善できた事例を、もつと様々な立場の人が共有するべきです。学校はもちろん、地域で活動する民生委員等にも事例を知らせることと、家庭の事情で学校に行きづらくなつてしまった子どもの状況を、1人でも多く改善できるように、現在の4人からさらなる増員も要望しました。

一般質問より

▼子どもの居場所について

子どもたちが安心して自立して過ごせる地域となるために

今年4月よりスタートした4年生以上の子どもルーム、高学年ルームについて、市民の皆様から多くの不満・不安の声があり改善を求めました。

エアコンの無い特別教室を利用している場合は夏どう過ごすのか、図書室等へ移動して過ごすとの回答でしたが、指導員の話の伺うと移動は難しい状況もあるとのこと。今後、注視していく必要があります。また従来のルームと同様ではなく、年齢相応の過ごし方ができるよう運営ガイドライン策定を求めました。

低学年や一部の高学年児童には、家庭的な居場所として子どもルームの拡充が必要ですが、「放課後子ども教室」が横浜市のように毎日開催となれば、親の就労状況に関わらず、居場所を必要とする子どもたちが地域で安全に自立して過ごしていけるのではないのでしょうか。

放課後子ども教室は地域の担い手不足により、保護者の負担が大きくなり、活動日数の拡充が難しい状況です。公民館による講座受講生の地域貢献への道筋作りや、プレーパークとの連携等、様々な人材活用を求めました。

厳密に管理するのではなく、社会に放り出すのでもなく、徐々に地域で過ごす力をつける緩やかな見守りによる子どもの居場所の検討を要望しました。

渡辺忍

▼児童虐待防止について

千葉市の妊娠SOSの相談窓口は？

全国の虐待された子どもの死亡事例をみると約半数が0歳児、それも生後直後の死亡が大変多くなっています。その多くは、予期せぬ妊娠による虐待死であり、妊娠期からの適切な支援がとても大切です。

しかし、千葉市には予期せぬ妊娠に対する専門の相談窓口はありません。インターネットで検索し、千葉県HPを経由してやっと示される、各区保健福祉センター窓口では妊娠全般の相談を受け付けていますが、メールでの相談受付の案内はありません。追い詰められた妊婦、例えば10代の妊娠、DVやレイプ被害を受けている等、SOSを求めている状況で、相談にたどり着けるとは思えません。

今後は予期せぬ妊娠についての相談項目を追加し、市内産婦人科に配布しているチラシにも掲載するなど、周知に努めるとのこと。様々な場面で千葉市における妊娠SOSの相談



わかりやすい相談窓口の周知例

窓口について周知し、受付方法としてメールも検討すること、SOSに関する相談件数を把握し、対応状況の確認ができるように管理することを要望しました。

今年度の所属委員会など

- 松井かよ子 … 総務委員会／会派幹事長
- 岩崎 明子 … 都市建設委員会／会派会計
- 渡辺 忍 … 保健消防委員会／広報委員会／少年自然の家事業運営協議会

